

「あおり家庭教育10か条」が 実を結ぶちょっとしたヒント。

これらは、しつけとして、
昔から当たり前のようになされてきたことです。

親はもちろん、おじいちゃんやおばあちゃん、
そして近所のおじさん、おばさんからも
愛情とともに教わったもの。

「昔から」を「古い」ではなく、
「ずっと大切なこと」ととらえ、
子どもにしっかり伝えていきましょう。

あいさつの習慣をつけよう

あいさつは「魔法のことば」です。たったひとりで、相手との距離が縮まります。自分から声をかける方がうまくいくことも教えてあげましょう。何より気分がいいですから。

おや、うれしいねえ こんにちわ!

こんにちわ!

子どもの生活リズムをつくろう

子どものやる気と元気は、規則正しい生活習慣から。キーワードは「早寝早起き朝ごはん」。まずは朝一番、カーテンを大きく開けて朝日を浴びましょう。そうすれば、おなかもちょうどすみます。

朝から元気だね!

オハヨ!

家族の会話を大切にしよう

家族だから言わなくてもわかる。つい、そう思いがちです。でも、会話はコミュニケーションの基本。話をよく聴く、思ったことを伝える。その行ったり来たりが家族の絆を深めてくれます。

あ、よかったねー

あのね... きょうね...

スマホやゲームのやり過ぎにも注意だね!

子どものいいところを伸ばそう

子どもにとってほめられることは、心の栄養になります。認められているという安心感が生まれ、自分を大切にできるようになります。一つ叱ったら三つほめるぐらいのバランスを心がけましょう。

リン、みんなと仲良しだよ

そこがリンのいいところだよ

家族の一員としての役割を持たせよう

家族はチームのようなもの。子どもに成長に応じたポジションを与えましょう。責任感、自立心など、得られるものが多いはず。「自分のことは自分で」から始めるのがよいでしょう。

リン、できたよ!

まあまあ、えらいねえ

社会生活のルールを教えよう

社会にはルールがあることを教えましょう。子どもがそれを守れなかったときがチャンスです。なぜそのルールがあるのか説明してあげましょう。大人が手本を見せることも大切です。

次は守れるよね

これ、ダメなんだね...

感謝と思いやりの心をはぐくもう

「ありがとう」を言われるうれしさを実感すれば、人にも感謝を伝えられるはず。大人が率先して「ありがとう」を言いましょう。思いやりの心もそうして育ちます。

おかせさん、いつもありがとう

こちらこそ、ありがとう

SNSは正しく利用しようね!

すこやかほっとライン

子育てに悩んだら
017-739-0101
毎週月・水・木曜日
13:00~15:00
(年末年始・祝日を除く)
※メール相談もあります
※家庭教育相談員が対応します

動画で学べる子育て情報

「家庭から始める防災」
「Z世代のネットリテラシー」など
30本以上掲載!



いろいろな体験をさせよう

家庭以外での遊びや活動は、子どもが直接社会とのかかわる貴重な体験。「気づき」や「学び」があり、ひとまわり大きく成長するきっかけになります。地域の行事にも積極的に参加させてみましょう。

またお祭りいこうね!

よっほど楽しかったんだね

わが家の1か条を決めよう

わが家で大切にしたいことを、みんなで話し合ってみましょう。

あが家のオリジナルね

いい機会だね

うちの子もよその子もみんなで育てよう

子どもは地域の未来です。住みよい地域にしようと思えば、うちの子にもよその子にも等しく接しましょう。親同士が子育てのことを話し合うのも、きっとプラスになります。

アオイちゃんも大きくなったねー

いっしょに帰ろう!

スマホやSNS等によるトラブルが増加しています。
子どもと使い方をしっかり話し合い、わが家のルールを決めましょう。